

■ 来場者数

約2万6千200人

(6月11日・12日 合計)

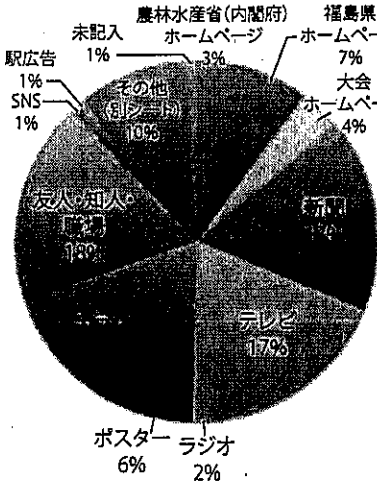
- ≫ メイン会場 (ビッグパレットふくしま) = 約2万2千人
- ≫ 関連イベント (郡山駅前西口広場) = 約4千200人

■ 出展参加数

151団体 141ブース

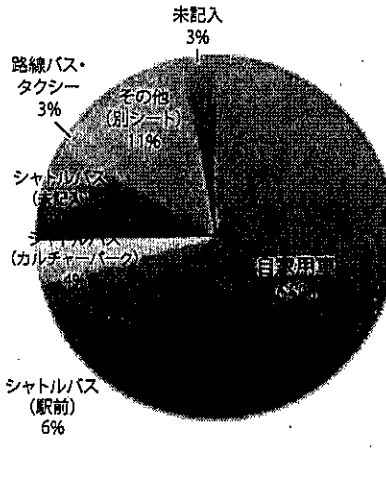
アンケート結果

Q1. 今回の食育推進全国大会の開催を何で知りましたか？ Q2. 来場の際の交通手段は何ですか？  
(複数回答可)



Q1. その他自由回答

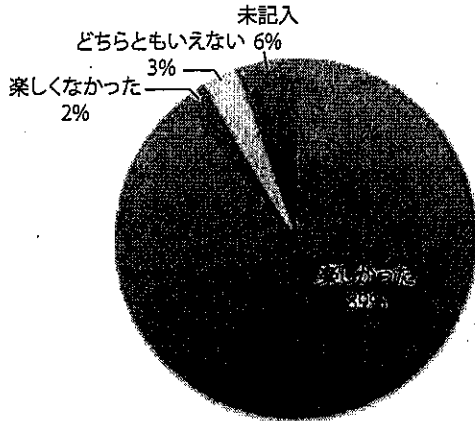
1 食改の案内	122
2 学校	65
3 市町村	27
4 行政	12
5 近くを通りかかった	9
6 前回会場	9
7 出展団体	8
8 健康推進協議会	8
9 会社の案内	7
10 ビッグバレットHP	6
11 スーパーのポスター	1
12 CM	3
13 フェイスブック	3
14 JICA	3
15 昨年うちわを買った	2
16 両親から	2
17 関係者	2
18 トランヴェール	1
19 リビング	1
20 アンテナショップ	1
21 県民カードHP	1
22 推進役員	1
23 日保協	1
24 全国栄養士協議会	1
25 未記入	82
合計	377



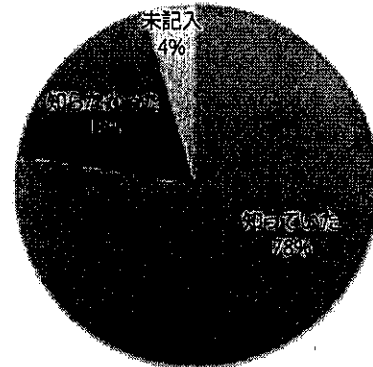
Q2. その他自由回答

1 貸切バス	99
2 市町村バス	91
3 徒歩	41
4 自転車	25
5 ツアーバス	17
6 新幹線	10
7 レンタカー	10
8 公用車	10
9 社用車	7
10 学校のバス	5
11 バイク	2
12 高速バス	1
13 未記入	37
合計	355

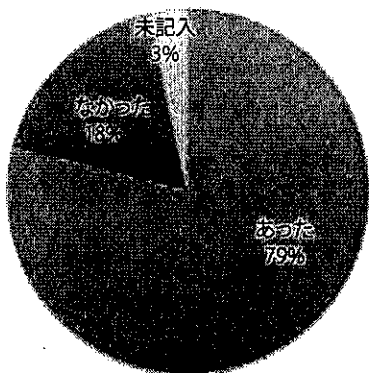
Q3-1. 本日のイベントはお楽しみいただけましたか？



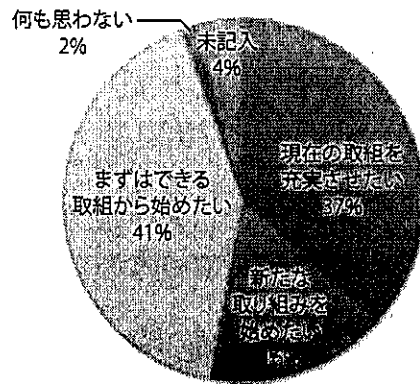
Q4-1. 「食育」の意味を知っていましたか？



Q4-2. 「食育推進全国大会」に御来場いただく前から食育に関心はありましたか？



Q4-3. 本大会に参加して、今後どのように「食育」に取り組みたいと思われましたか？



アンケート結果

Q10.食育を推進するにあたりどのような課題を感じていますか？

No.	回答	複数回答数
1	栄養バランス	95
2	問題を見つけたにも、改善するにもまずは知識が必要	93
3	子供の食育には家庭の協力が必須(子供の好き嫌い、野菜嫌い等)	73
4	子供だけでなく親への指導、関心のない人に興味を持ってもらえる活動	60
5	肥満	56
6	食品ロスについて	52
7	減塩生活、野菜を多くとる生活を心がけたい	43
8	福島県産品の安全性について	40
9	一人一人がもう少し意識を高める事が重要	40
10	時間がなく食事することに時間をかけられないこと	39
11	健康を維持したい。食育は健康に繋がるといこと	34
12	食育を勉強する機会(講演会)があまりない	33
13	近くの人にも伝えていきたい	32
14	男性、子供も全体で取り組む必要がある(女性寄りになっている)	32
15	地域全体の実態把握、取組	30
16	教職員の問題の意識改善	21
17	家庭での食生活の充実、食べものを残すことへの抵抗のなさ、食物アレルギー	20
18	もっと広めるためメディアの活用など、PRに力を入れる	19
19	オーガニック食品、添加物、保存料がないものを摂りたいが価格が高い	14
20	各家庭の考え方が違っており、決まった形がとりにくい	12
21	実際に食育とは何から始めればよいかわからない	8
22	わかっても実行まで結びつかない	8
23	果のイメージ向上に取組、子供から大人まで食の大切さをアピールしていきたい	8
24	こういった食について考えるイベントへの若者の積極性がない	5
25	地産地消、郷土料理をもっと地元の人に食べてもらいたい	5
26	"子供の貧困"がどこでも問題になっています。ここにも目を向けた対策、特に子供たちの「食の保証」を国をあげて取り組むこと、「学校給食の無料化」などを具体的に進めること。貧困家庭に食事の提供を具体的に進める必要がある	4
27	生活習慣の見直しをしなければいけないと思った	4
28	日頃から食育を考えて、安易に簡単においしい食材に飛びつかない	3
29	市全体をもちろんの事、やはり連携を取って取り組んでいく事	3
30	安心安全な食品の確保 国産生産物の安定供給	2
31	誤った情報に流されないこと	2
32	子どもたちへ農業体験など食品がどのような流れで食卓に並んでいるのかを学ぶ場が欲しい	2
33	生活を安定させる	2
34	生産者と製造メーカーとの調達	2
35	料理が苦手な人は、様々な良い情報があっても面倒と思い自己改善ができない。子供のころから料理への抵抗感をなくすようにしたいかも	1
36	歯の健康	1
37	スローフードの良さをわかってもらいたい	1
38	日本の食糧自給率の向上	1
39	地域にだれでも利用できる調理室があると良い。このような誰でも参加できる楽しいイベントを近場でやってもらえると良い	1
40	現在の自分の年齢にあった食事内容の見直しをする	1
41	食べ物の他に衛生面 口の元気	1
42	若い人、子供、特に都会に住む家族への普及・推進が大切。民泊をやっているか?地方の子供たちの食生活の素晴らしさに引き換え民泊にくる子供たちには少し考えさせられる。民泊はとて有意義	1

No.	回答	複数回答数
43	ファストフードに「地産地消」を取り入れたり、県や市と企業が「食育」で繋がったりなど若い人に対するプロジェクトや企画を積極的にすべき	1
44	福島では「地産地消」は危険かもしれないと子供に教えることも一つの食育ではないのか	1
45	玄米や麦ご飯、薄味に心がけていたが、Caや塩分が思った以上の結果だった。栄養バランスに心がけているが、外食している方が多く広く行う意義があると感じた	1
46	"楽しい食事" 団らんが大事	1
47	自給率の低さ	1
48	フルーツをもっと料理に生かしたい	1
49	食品表示に今、紛らわしいものもあると思うので、はっきり表示して頂ければと思う	1
50	地区・近所の方々とかかわり、地区に提案した取り組みなど私に出来ることを実践していこうと思っている	1
51	それぞれの食育をつなげる、つなげる方法	1
52	近くのスーパーで何を買ったらよいか分からない	1
53	家族構成に問題あり	1
54	楽しい美味しい和食は、味覚と臭覚と視覚の調和が求められる。心からの面の栄養価が期待される	1
55	職場にもどんどん広めてほしい	1
56	食材、農学の国際化	1
57	中年の人達(40〜50代)の無関心	1
58	みんなで関心をもっともっと食べる意味・意義を広める	1
59	関係者との連携 他部署との食育に関するすり合わせ	1
60	朝食をきちんと食べる生活	1
61	「職立の」マンネリ化が目立つので工夫したい	1
62	関心のある家庭とそうでない家庭があり、学校における食育が学校(その時)だけで終わってしまいがち、各家庭への働きかけが課題	1
63	対象者をとりまく環境の整備が必要と思う	1
64	食育といっても幼い時の食習慣、なにをどう食べるか家庭での食の大切さを伝えていくべきではないかと思う	1
65	指導者のいることが必要	1
66	食育の範囲が広すぎて対応が難しい	1
67	食育活動がもっと拡大してほしい	1
68	有機食材	1

アンケート結果

Q11.次回の食育推進全国大会に期待すること、改善すべきことがございましたら、御自由に御記入ください。

No.	回答	複数回答数
1	こういう機会が多くなると良いと思う	150
2	もっと宣伝していったほうが良いと思った	104
3	子供たちがもっと参加できる内容が多いと良いのでは	86
4	交通アクセス	79
5	講演の数を増やして欲しい	76
6	料理教室がもっとあると良い	56
7	ブースの範囲をもっとわかりやすくして欲しい	48
8	資料が重い、とくに紙類	48
9	各ブース多すぎて全部歩けない	32
10	もっといろんな企業に参加していただきたい	32
11	一日で全部のブースをしっかりと参加できなかったのが残念	28
12	コンベンションホールの時間帯がもっとわかりやすいと思った	26
13	各地域の特産物が分かるものがあつたらいいなと感じた	22
14	音楽、ダンスイベントなど楽しめるイベントになって楽しかった	21
15	楽しく学べるブースを追加	20
16	食事(レストラン)を増やしてほしい	18
17	全国の方に福島の魅力やPRができると思う	12
18	子供が親子で楽しみながら食や栄養を学べる展示が充実するとより有意義では、勉強になった	8
19	アンケートを記入している場所にもよるが、テーブルの設置場所によっては光度が低いので、ご年配の方へ不親切と感じた	8
20	各地の特色も知りたい	6
21	休憩エリアを増やしてもらいたい	3
22	国民全体で食べ物への意識(健康と食事の大切さ、関係など)が高まるような政治的な働きがあると良い	1
23	開会式に参加して、若い子供たちも食育ボランティアとして活躍していることを知った。表彰式の時どのような内容の取り組みをしているか紹介があるといいと思った	1
24	今年のように一か所で開催してほしい。去年のように何か所かに分かれているとあまりまわることができないので続けてほしい	1
25	実演料理を多く、食材組み合わせで健康効果が上がるPR	1
26	理想的な食生活について実演などで教えてくれるブースを開いてほしい	1
27	長野、福島と全国大会に参加してきましたが、私どもの地域では大会ができる会場がなく苦労した。今回から農村者の内容が充実しているように感じた。やっぱり大会を奨めるには大きな受け皿が必要だと思った	1
28	ブースのスペースを広くしてほしい	1
29	来場者にもっと話しかけてほしい	1
30	新しい情報があつたら知らせてほしい	1
31	販売ブースも設立してください	1
32	福島の食品多く関東へ届けたい	1
33	目玉となるような有名人やアイドルを呼べばもっと来客が増えると思う	1
34	もっと大人だけでなく、児童や生徒が足を運んでくれるといい。来てほしい中学生や高校生はほとんどいなかった	1
35	いつでも食育は大切で気にすること。もっと野菜に対する調理方法が知りたかった	1
36	食事をすすめるのではなく、食事を楽しむ。そうした生活こそが豊かな生活なのだと思う。続けていってください	1
37	全国大会に初めて参加した。来年度開催の岡山市出展もあり第11回という大きさを感ずることができた。続けていってほしい	1
38	岩手県か神奈川県で開催してほしいです	1
39	若い男性の方の添加物が多いスーパー、コンビニなどの食物摂取が心配。新鮮な野菜を食べてほしいと思う	1
40	一目見て何をやっているブースなのかわからないところがあつた	1
41	バスツアーは土曜日にもやってほしい	1

No.	回答	複数回答数
42	自分自身を見つめなおすきっかけにもなりました。夫婦で同じものを食べていても育った環境ですすでに味覚にも違いがあり理解しあっていかなければと思った	1
43	試食体験の時間など前もってわからなければ参加できないこともあり残念	1
44	農林水産省のブースは職員が中央にたまっていて入りづらい	1
45	郡山の鯉の料理をすすめてほしい	1
46	他県からの特産品のブースもあればいいと思う。一日目のシンポジウムも申込制にすればもう少し人が増えたと思う	1
47	食に携わる仕事をしている方は、来て勉強できることが多いと思う。時々行くカフェのマスターが、この大会があることが知らなかったようなので、昨日パンフを差し上げたら、今日仕事を任せて、午前中だけでも見に来たいと言っていた。一般の方々および、食に携わるプロにもとても参考になることが多いので、もっといろいろなメディアなどを使って、PRすることも必要ではないかと思った	1
48	ふくしまの天のつぶを押しているわりに、食べるブースにお米のブースが少なすぎる。福島らしいブースづくりをもっとすべき。全国を名打つなら、なおさらだと思う	1
49	食材の勉強会、一日のカロリー摂取内容の紹介、健康な食事内容と方法などのコーナーを	1
50	福島県の子供は肥満が多いと聞いた。そのような点や、育児をしながらの時間テクニックや節約しながらの食育のコツを教えてください	1
51	興味のある人、業界の人だけでなく、たくさんの人にこういうイベントがあることを伝えてほしい。広告もいろんな人が出入りする所に欲しい。どんな内容かもわかりやすいと来やすい。乳児、幼児とも来やすい工夫。授乳室や遊びながら食育を学べる場所も	1
52	ブースを出すからには積極性が欲しい。一部に全く感じられないブースがあつた。ex文部科学省 駐車場の入り口でカルチャーパークに停めるよう指示されたが後から来た車をどんどん入れていた。おかしいです	1
53	広報が遅かった。もっと早くから、チラシ、ポスターを準備すべきだ。自治体の食育基本法への認識がまだ甘いのではないかな	1
54	食品添加物についての知識をもっと勉強したい。体にやさしい料理づくりを心がけたい。2人に1人がん現実を知ることも大事と...	1
55	「食」「運動」「休養」の3点から体はつくられるので、抱き合わせで実施することで、より関心をもっていただけたと思う	1
56	県内に住んでいるが会場まで遠いので多くの人を誘って参加できなかった	1
57	世界に誇れる和食文化の発展向上に期待する	1